

国際医療福祉大学 研究データポリシー

令和6年6月18日

国際医療福祉大学（以下「本学」という）は、「共に生きる社会の実現」を目指し、建学以来3つの基本理念（「人間中心の大学」、「社会に開かれた大学」、「国際性を目指した大学」）を掲げており、この理念は本学における研究活動にも一貫している。本学および研究に携わる者（以下研究者という）は、自らの専門性、学際性、国際性を踏まえて自由な発想による研究を推進する。その過程において、自らの活動が人類社会の持続的発展に貢献することを目的として、世界に開かれた大学としてその知を公正に社会に伝えることをその責務とする。

本ポリシーは、以上の理念のもと、それぞれの研究分野における倫理的および法的要件に則りそれらを最大限尊重した上で、研究データを適切に管理し、その公開等を通じて利活用を促進することを目的として、以下の原則を定める。

（研究データの定義）

- 1 本ポリシーにおける「研究データ」とは、本学の研究活動の過程で研究者によって収集または生成された情報を指し、デジタル・非デジタルを問わない。

（適用範囲）

- 2 本ポリシーは、本学において研究者全員（教職員・学生など研究に携わる本学構成員すべて）に適用される。適用される期間は、当該研究の実施期間中のみならず実施後も含まれる。

（研究データの管理）

- 3 研究者は研究データの価値を守るため、研究分野の特性等を考慮し、関係諸法令、規則及び契約、倫理規範等に従い、研究データを適切に管理及び保存する責務を有する。本学は、研究データの最終的な管理責任を負うとともに、研究データ管理のための支援環境を整備する。

（研究データの公開）

- 4 本学および研究者は、それぞれの研究分野の特質を踏まえ、その法的及び倫理的要件に従って、可能な限り社会に研究データを公開し、その利活用を促進する。本学は、研究者による研究データの公開のための活動を積極的に支援し、その環境を整備する。

（その他）

- 5 本ポリシーは、社会や学術状況の変化に応じて適宜見直しを行うものとする。